

～八ヶ岳歩こう会創立20周年記念～  
甲州街道ウオーク

コースマップ

第4回・八王子宿～与瀬宿  
2019年2月25日(月)

- ・距離 約16km
- ・解散 相模湖駅
- ・担当者 田中哲夫  
重田友五郎  
和田宏  
田中憲一

- ・次回開催 第9回 鶴瀬宿～石和宿
- ・2019年3月27日(水)
- ・距離 約16km
- ・集合 甲斐大和駅(午前9時30分)

【小仏峠】(標高548m)

「峠の頂に小像の石地蔵あり、故に名とすなるならん。或いは云、この地の大日堂本尊もとの像は土中出现のものにて小像なりしかば、此地名のおこりしと。いつれが是なりや」ここに小さな仏様が祀られていたことに由来する。

戦国時代、武田信玄家臣の小山田信茂が武州滝山城を攻めた時この山路が使われ、江戸時代に入ってから峠路としての通行が盛んになった。峠に関所のあったころは、富士見関とも呼ばれ、「ひばりより 上にやすらふ 峠かな」という芭蕉の句碑もあった。この碑は、浅川老人ホームに移されている。

【小原宿本陣】

平成8年に神奈川県重要文化財に指定された。清水家の先祖は後北条の家臣清水隼人介で、小原宿が設けられてからは名主と本陣を兼ねていた。

江戸時代、神奈川県内は、東海道・甲州街道合わせて26軒の本陣があったが、現存しているのは小原宿本陣だけである。入母屋造りの建物は平屋に見えるが、内部は四層造りになっており、養蚕と機械も行っていた。大名専用の上段の間をはじめ、14室の部屋が往時のまま残されている。本陣を利用したのは、信州の高島藩・飯田藩・高遠藩の大名と甲府勤務の役人が主だった。

